

表1 特徴的な取組事例(60事例)／SATOYAMAイニシアティブの「5つの視点」との対応関係

※「平成21年度里地里山自然資源管理モデル検討調査委託業務報告書」による

保全再生の検討課題	検討の視点	地区名	整理番号	事例の特徴（特に参考となると考えられる点）	SATOYAMAイニシアティブの「5つの視点」との主な関係(※)				
					①環境容量・自然復元力の範囲内での利用	②自然資源の循環利用	③地域の伝統・文化の認識	④多様な主体の参加と協働	⑤地域社会・経済への貢献
①農林業を軸にした資源の持続的な管理・利用の推進	●景観や生物多様性の保全等を契機にした伝統的な農の営みの活性化	金蔵地区(石川県輪島市)	1	集落全体で棚田や歴史文化維持のためのNPO法人を設立、棚田営農の継続、五穀を中心とした特産品開発など総合的な取組を進めている。	●		●	●	●
		石部の棚田(静岡県松崎町)	2	県の棚田10選選定を機に、地元農業者がボランティアの協力も得て棚田を復元、企業、大学の協力も得ながら管理を行っている。商工会と連携し黒米パンなどの特産品開発も進めている。	●			●	●
		江里山の棚田(佐賀県小城市)	3	農村景観100選選定を機に、集落全体で水条件などを活かした減農薬の米づくりに取り組んでおり、棚田景観と伝統食の継承をテーマに都市との交流も進めている。	●			●	●
	●里地里山イメージを活用した農林産品の高付加価値化と販売力強化	豊岡盆地・円山川(兵庫県豊岡市)	4	市がコウノトリをシンボルとした「豊岡市環境経済戦略」を策定、コウノトリ米の販売など希少野生生物の保護と地域経済を結びつけた取組を進めている。	●				●
		北庄の棚田(岡山県久米南町)	5	農業者が棚田天然米生産組合を組織、伝統的な水利技術と棚田景観を結びつけた地域ブランド米の少量限定販売により付加価値を高めている。	●		●	●	●
	●間伐材やチップなどの活用による新たな資源価値の発掘(利用技術開発と市場開拓)	薩摩川内地域の竹林(鹿児島県薩摩川内市)	6	竹資源を利用した様々な製品開発とそれに基づく産業連携の成立により、里山竹林の持続的な利用と管理が行われている。	●	●		●	●
②野生動植物やその生息地の保全・管理	●生物多様性に富み、人々に豊かと感じられる里地里山環境の保全、創出	ハサンベツ里山(北海道栗山町)	7	町教育委員会中心に、住民参加で離農跡地にホタル・トンボ水路整備、雑木林復元、ソバ栽培などの豊かな生態系回復を目指した取組が進められており、総合学習の場としても活用されている。	●			●	
		久保川イーハートブ(岩手県一関市)	8	溜池、棚田、小河川など多様な環境で伝統的な里山管理が継続され、在来の生物相がよく残っている。地権者を軸に地元住民、研究機関など多様な主体が協力して外来種駆除や二次林管理などの取組を展開している。	●			●	●
		穴塚大池周辺(茨城県土浦市)	9	生物多様性の維持保全を軸に、調査、外来生物駆除、里山整備、棚田米づくり、環境学習などの取組が、NPO、住民、研究者、行政などにより総合的に展開されている。	●			●	●
		小佐渡東部地区(新潟県佐渡市)	10	トキ野生復帰事業を契機に人とトキの共生への理解が広がり、棚田再生や冬季湛水など生息環境の復元やトキ米や修学旅行受入などの活用が地域ぐるみで進められている。	●			●	●
		白山・坂口地区(福井県越前市)	11	アベサンショウウオ等希少生物が生息する里地里山の価値が地域で再認識され、生きもの調査や農産物ブランド化、都市との交流など活動の幅が広がっている。	●			●	●
		河辺いきものの森(滋賀県東近江市)	12	市とNPOが協働してかつての河畔林の保全管理を行い、環境学習の場として活用している。特定の動植物の保護ではなく普通の里山づくりを目指している。	●			●	
		いなみの台地(兵庫県加古川市ほか)	13	ため池等の自然や文化景観を地域の遺産として引き継ぐため、水辺の自然観察会などで住民の認識向上を図るとともに、池干し、外来種除去などの取組を広域的なネットワークで進めている。	●		●	●	●
		世羅台地周辺(広島県三原市)	14	休耕地に定着した希少種ヒヨウモンモドキを保全するため、地権者との覚書により保護区を設置し、地元住民も参加して草刈りや水路の復元を行っている。保護区は移動分散を考慮したネットワークで配置している。	●			●	
		伊尾・小谷地区(広島県世羅町)	15	絶滅のおそれのあるダルマガエルの保護移植をきっかけに、希少種の生息環境が地域の財産として認識され、ダルマガエルと共存する農業やギフチョウの生息環境保全が地元主導で行われている。	●			●	
		舟志の森(長崎県対馬市)	16	ツシマヤマメコ生息地で、人と自然の共生を進めるため地権者企業、活動団体、地元住民、行政が連携・協働して管理計画を策定、間伐等の人工林管理と広葉樹林の育成、区民参加の生息調査、休耕地の湿地保全などの取組を進めている。	●			●	

保全再生の検討課題	検討の視点	地区名	整理番号	事例の特徴（特に参考となると考えられる点）	SATOYAMAイニシアティブの「5つの視点」との主な関係(※)				
					①環境容量・自然復元力の範囲内での利用	②自然資源の循環利用	③地域の伝統・文化の認識	④多様な主体の参加と協働	⑤地域社会・経済への貢献
③良好な景観の保全、伝統的生活文化の智慧や技術の継承	●里地里山の景観や生活文化の再評価と地域資源としての活用	富士権現山山麓(茨城県桜川市)	17	古い歴史を持つ鎮守の森を守るため、地元のボランティア団体が周辺の里地里山の間伐、枝打ちなどに取り組んでおり、伝統行事の素材や総合学習の場としても活用されている。	●			●	●
		谷田・武西の谷津(千葉県白井市、印西市)	18	ニュータウン入口に残された特有の草地や谷戸を、地域の景観や文化を代表し自然との共生を示すモデル地区と位置づけ、市民主導による保全整備を進めている。	●			●	●
		越後妻有地域(新潟県十日町市、津南町)	19	里地里山をアート制作イベントの場とすることで、新しい形で里地里山の魅力を発信し、地域内外で里山環境の再認識につながっている。	●			●	●
		遠州南部地区(静岡県掛川市、袋井市、磐田市)	20	稲田の広がる農村景観や農村文化の継承を目指し、歴史、生態系、農業、伝統料理など地域の専門家のNPOが情報発信や都市・農村交流などに取り組んでいる。	●			●	●
		上世屋地区(京都府宮津市)	21	藤織り技術の伝承や笹葺き民家再生と里地里山保全再生を結びつけ、人材の確保・育成や地域活性化につなげている。	●		●	●	
		稲淵棚田(奈良県明日香村)	22	棚田を貴重な文化遺産として認識した地元農家が棚田オーナー制度を発足させ、農業体験や交流イベントを通じて新たな文化の発信を目指している。	●		●	●	●
		④里地里山の価値に対する社会的な認識の向上、環境教育等の場としての活用	●里地里山の価値に対する地域の認識の向上	にいつ丘陵(新潟県新潟市)	23	市が「里山保全活用基本計画」を策定、市有林の手入れや里山ハイキング等を市民参加で行うことにより、民有林所有者にも意識向上と里山再生の取組促進を図っている。	●		
朝倉南地区(愛媛県今治市)	24			公民館が中心になって、地域住民、NPO等がため池や湿地の自然環境調査や観察会、保全活動、また歴史文化・環境学習を併せて行い、子供たちの環境問題への理解を深めている。	●			●	
●環境学習等のプログラムの開発・運営	トヨタの森(愛知県豊田市)		25	鬱蔽した林になっていた社有林の手入れ、整備を、モニタリングとフィードバックを行いながら進めており、地域の自然体験学習の場としても活用されている。	●			●	
	漆の里山(鹿児島県蒲生町)		26	環境省モニタリングサイト1000の里地サイトであり、地域のNPOが軸になって環境調査や里山自然学校、環境学習など多様なプログラムを進めている。	●		●	●	●
●フィールドを確保し、プログラムを運営する体制の整備	桜宮自然公園(千葉県多古町)		27	産廃処理場計画を契機に、地権者が里山の価値を再認識、荒廃した谷津田を再生する手法として自然公園が整備された。身近なふれあいの場として活用しつつ、会員組織により維持管理を継続している。	●			●	
	春蘭の里(石川県能登町)		28	異業種につく地元有志の実行委員会が中心になって、里山環境を活かした環境学習や里山体験、グリーンツーリズム、特産品開発など多面的な取組が地域ぐるみで展開されている。	●		●	●	●
	立神峽・里地公園(熊本県水川町)		29	町が整備した里地公園を拠点として、NPOの参加による里山管理や子供たちが暮らしの知恵を体験する学習プログラムを展開する体制が構築されている。	●		●	●	
⑤里地里山の管理・利用への多様な主体の参加促進	●地元住民による主体的取組を促進する仕組みや体制づくり	細越ホテルの里(青森県青森市)	30	集落の全戸が参加して「ホテルの里の会」を結成し、北限のホテルの生息環境保全を軸に休耕田の復元など地道な取組を継続している。	●			●	●
		鹿島台シナイモツゴの郷(宮城県大崎市)	31	地域の農業者が本地域を基準産地とする希少淡水魚シナイモツゴをシンボルにした環境保全米の栽培と販売を展開。同時に保護増殖や環境学習の取組もすすめている。	●			●	●
		東山の森(愛知県名古屋市中区)	32	大都市内に残された森を市民の共有財産と位置付け、市民団体と市が共同して森づくり連絡会を設立。パートナーシップにより雑木林の手入れ、環境学習や生物調査などを進めている。	●			●	
		四万十川流域(高知県四万十町)	33	地元民間企業が内外の人や組織を結び付け、地域の生活・環境を支えてきた一次産業の再生を目指して資源発掘や商品開発を進める役割を担っている。	●		●	●	●
	●地元と外部の協力・連携による取組を促進する仕組みや体制づくり	突哨山(北海道旭川市)	34	カタクリ群落保護運動を契機に公有地化された里山を対象に、指定管理者制度を活用して行政と市民団体が連携して運営する体制が構築されている。	●			●	
		上ノ原入会の森(群馬県みなかみ町)	35	かつて入会地だった萱場の再生をめざし、下流の市民団体が地元住民の指導を受けながら火入れや萱刈りを行う「上下流連携」が進められており、「現代版入会」の仕組みづくりが模索されている。	●	●	●	●	

保全再生の検討課題	検討の視点	地区名	整理番号	事例の特徴（特に参考となると考えられる点）	SATOYAMAイニシアティブの「5つの視点」との主な関係（※）				
					①環境容量・自然復元力の範囲内での利用	②自然資源の循環利用	③地域の伝統・文化の認識	④多様な主体の参加と協働	⑤地域社会・経済への貢献
		船橋市北部地区（千葉県船橋市）	36	NPOが森林所有者と契約し施業計画を立てて造林補助事業により森林整備を行う、所有と管理を分離した仕組みが稼働している。	●			●	
		横沢入里山保全地域（東京都あきる野市）	37	行政から委託を受けた地域住民主体のNPOが、里山保全地域の稲作・管理を行っている。また、企業、NPO、行政の三者が協定を結んで、環境学習や企業CSRの場として広く活用する仕組みが作られている。	●			●	
		藤野町佐野川の里山（神奈川県相模原市）	38	地元活動団体が、旅行社や大学等との連携体制を作りながら、都心から近い立地を活かし間伐材を活用した工芸品の開発・販売、体験観光などに取り組んでいる。	●			●	●
		秦野地域の里地里山（神奈川県秦野市）	39	行政を中心に、地元農家、活動団体等幅広い関係者が連携し役割分担しながら、里山整備、荒廃農地の復元、体験学習、ボランティア研修等に取り組む連絡協議会が組織されている。ボランティアと地権者をつなぐ仕組みもできている。	●			●	●
		ライオン山梨の森（山梨県山梨市）	40	企業、森林組合、行政が協定を締結、企業資金や社員のボランティア参加により植林、間伐・枝打ちなどの活動が実施され、現地産材からできた紙を企業が購入するなどの連携も行われている。また、本社所在地の区民による森林整備体験も実施されている。	●			●	
		朽木針畑の里山（滋賀県高島市）	41	山村集落の活性化に向け行政が音頭を取り、地元住民、企業、NPOによってそれぞれの特徴を活かした取組が行われている。	●		●	●	●
		西山地区（京都府長岡京市）	42	地権者、企業、大学、行政等多様な関係者が協議会を通じて連携し、放置竹林の再生や研究、啓発活動等を行っている。京都府モデルフォレスト運動の取組地として、企業の社員・家族が積極的に参加している。	●		●	●	
		毛原の棚田（京都府福知山市）	43	地元住民と行政が連携して棚田体験ツアーやオーナー制度など都市との交流活動を継続し、保全再生の担い手の定住促進を図っている。モデルフォレスト運動による企業参加の里山整備も実現している。	●		●	●	●
		綾部地域の里山（京都府綾部市）	44	行政の支援の下、都市・農村の交流や定住促進をめざすNPO法人が設立され、ボランティアと地元の協働による里山整備、農林業体験や農家民泊、空き家紹介など多様なプログラムを展開している。	●			●	
		神於山地区（大阪府岸和田市）	45	地域のシンボルとなっている里山の荒廃防止のため、市民、活動団体、企業、行政が協議会を結成し、エリアを分担して取組を進めている。	●			●	
		山野草の里（奈良県桜井市）	46	NPOが里山の保全整備に取り組み、行政が森林所有者との調整や費用・機材の助成などで支援する連携体制が構築されており、地元農家や関係団体とともに酒米の耕作再開など幅広い取組が展開されている。	●			●	
		西条地区（広島県東広島市）	47	地元酒造協会の基金運用により、市民や大学が参加する山と水のグラウンドワークが展開され、水源の森が再生されつつある。	●	●	●	●	●
		粉所の里山（香川県綾川町）	48	県事業の里山オーナー制度への参加をきっかけに、借主たちが独自に地域や所有者の協力を得て里山整備の取組を拡大している。	●			●	
		阿蘇草原地域（熊本県阿蘇市）	49	地域の人々の生業とともに維持されてきた広大な草原の保全・再生のため、自然再生事業の枠組みを活用して協議会が結成され、ボランティアの参加による野焼きなど幅広い取組が行われている。	●	●	●	●	●
⑥里地里山の管理・利用手法の再評価と新たな手法の開発	●伝統的な里山管理手法の再評価と技術の継承	荒川高原牧場（岩手県遠野市）	50	北上山地特有の自然条件下で地元組合によって維持されてきた馬放牧地の利用・管理を、市の公社が引き継ぎ、草地景観や湿原を保全しつつ畜産振興を図っている。	●			●	
		図師小路歴史環境保全地域と隣接地（東京都町田市）	51	地元農業者による地域伝来の農法が行政の委託により継続され、里地里山環境の再生と市民の環境教育、意識啓発につながっている。	●		●	●	●
		山熊田地区（新潟県村上市）	52	焼畑に赤カブ・雑穀を栽培し、跡地にスギを植える林業が維持され、しな織り等、里山資源を利用する伝統的な生活文化を活用した特産品の製造・販売、ツアーなどの取組が地域活性化をもたらしている。	●		●	●	●
		こもろミズオオバコビオトープ（長野県小諸市）	53	希少な沈水植物を保護移植するため、地域特有の地形の休耕田をビオトープとして復元し、無農薬、手作業の伝統農法で米作りを行っている。貴重種の保存に成功し、里地の恵みを体験できる場ともなっている。	●			●	

保全再生の検討課題	検討の視点	地区名	整理番号	事例の特徴（特に参考となると考えられる点）	SATOYAMAイニシアティブの「5つの視点」との主な関係（※）				
					①環境容量・自然復元力の範囲内での利用	②自然資源の循環利用	③地域の伝統・文化の認識	④多様な主体の参加と協働	⑤地域社会・経済への貢献
●現代の里地里山に適用可能な持続可能な資源管理手法の確立		高安地区（大阪府八尾市）	54	ため池を改修し、池干しなど伝統的水管理手法を再現することにより、希少淡水魚類ニッポンバラタナゴの再生に成功している。また、地域全体の水循環の再生のため周辺の森林整備も行っている。	●		●	●	
		弘川寺歴史と文化の森（大阪府河南町）	55	生業として行われていた炭焼きを農家の指導を受けた市民団体が復活させ、炭・薪の生産・販売収入も原資にしながら、環境教育などの取組を進めている。里山保全と地域文化の継承につながっている。	●		●	●	
		北摂・黒川の里山（兵庫県川西市）	56	古くから炭づくりが盛んな地域で、現在も農家や市民団体によって伝統技術による特産の菊炭生産が継続されている。台場くぬぎの輪伐によりモザイク状の里山林が形成され、特有の景観と生物生息環境が維持されている。	●	●	●	●	●
		秋吉台地域（山口県美祿市）	57	長年の放牧地利用とドリーネ耕作で形成された草地と畑地の景観を、行政など地域の関係主体が山焼きや体験耕作で継承する取組を行っており、エコツーリズム推進にも役立っている。	●			●	●
		生出地区（岩手県陸前高田市）	58	長い歴史を持つ製炭技術を継承して全国有数の技術に高めるとともに、都市との交流や木炭発電などの新技術開発にも取り組んでいる。	●	●	●	●	●
		浦高百年の森（埼玉県寄居町）	59	高校同窓会が放置林などを借り受け、100年計画で森林再生に取り組んでいる。カン極相林、里山林、スギ、ヒノキ林など多様な森の形成を目指しており、変化を記録し学術的評価を行うこととしている。	●			●	
		安堂地区（滋賀県近江八幡市）	60	イノシシ被害をきっかけに、地域が協力して耕作放棄田や里山を伐採し、緩衝地帯に黒毛和牛を放牧する対策に取り組んでおり、鳥獣害防止、景観保全、畜産振興、バイオマス利用など多面的機能を発揮し、里山管理への関心と参加が広がっている。	●			●	

表2 立地から見た60事例の特性

地区名	整理番号	立地(二次林のタイプによる地帯区分)					地方区分							
		ミズナラ	コナラ (東日本)	コナラ (西日本)	アカマツ	シイ・カシ	その他	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州
金蔵地区(石川県輪島市)	1			1							1			
石部の棚田(静岡県松崎町)	2		1						1					
江里山の棚田(佐賀県小城市)	3					1								1
豊岡盆地・円山川(兵庫県豊岡市)	4			1								1		
北庄の棚田(岡山県久米南町)	5				1								1	
薩摩川内地域の竹林(鹿児島県薩摩川内市)	6					1								1
ハサンベツ里山(北海道栗山町)	7						1							
久保川イーハトーブ(岩手県一関市)	8		1						1					
穴塚大池周辺(茨城県土浦市)	9		1							1				
小佐渡東部地区(新潟県佐渡市)	10	1								1				
白山・坂口地区(福井県越前市)	11			1							1			
河辺いきものの森(滋賀県東近江市)	12				1							1		
いなみの台地(兵庫県加古川市ほか)	13				1							1		
世羅台地周辺(広島県三原市)	14				1								1	
伊尾・小谷地区(広島県世羅町)	15				1								1	
舟志の森(長崎県対馬市)	16					1								1
富士権現山山麓(茨城県桜川市)	17		1							1				
谷田・武西の谷津(千葉県白井市、印西市)	18		1							1				
越後妻有地域(新潟県十日町市、津南町)	19	1								1				
遠州南部地区(静岡県掛川市、袋井市、磐田市)	20		1							1				
上世屋地区(京都府宮津市)	21			1								1		
稲淵棚田(奈良県明日香村)	22				1							1		
にいつ丘陵(新潟県新潟市)	23	1								1				
朝倉南地区(愛媛県今治市)	24				1								1	
トヨタの森(愛知県豊田市)	25				1						1			
漆の里山(鹿児島県蒲生町)	26					1								1
桜宮自然公園(千葉県多古町)	27		1							1				
春蘭の里(石川県能登町)	28			1							1			
立神峡・里地公園(熊本県氷川町)	29					1								1
細越ホタルの里(青森県青森市)	30	1								1				
鹿島台シナイモツゴの郷(宮城県大崎市)	31		1							1				
東山の森(愛知県名古屋市)	32				1						1			
四万十川流域(高知県四万十町)	33					1							1	
突哨山(北海道旭川市)	34						1			1				
上ノ原入会の森(群馬県みなかみ町)	35	1									1			
船橋市北部地区(千葉県船橋市)	36		1								1			
横沢入里山保全地域(東京都あきる野市)	37		1								1			
藤野町佐野川の里山(神奈川県相模原市)	38		1								1			
秦野地域の里地里山(神奈川県秦野市)	39		1								1			
ライオン山梨の森(山梨県山梨市)	40		1								1			
朽木針畑の里山(滋賀県高島市)	41			1								1		
西山地区(京都府長岡京市)	42				1							1		
毛原の棚田(京都府福知山市)	43			1								1		
綾部市域の里山(京都府綾部市)	44			1								1		

地区名	整理番号	立地(二次林のタイプによる地帯区分)					地方区分							
		ミズナラ	コナラ (東日本)	コナラ (西日本)	アカマツ	シイ・カシ	その他	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州
神於山地区(大阪府岸和田市)	45				1							1		
山野草の里(奈良県桜井市)	46				1							1		
西条地区(広島県東広島市)	47				1								1	
粉所の里山(香川県綾川町)	48				1									1
阿蘇草原地域(熊本県阿蘇市)	49					1								1
荒川高原牧場(岩手県遠野市)	50		1						1					
函師小野路歴史環境保全地域と隣接地(東京都)	51		1							1				
山熊田地区(新潟県村上市)	52	1								1				
こもろミズオオバコビオトープ(長野県小諸市)	53	1									1			
高安地区(大阪府八尾市)	54				1							1		
弘川寺歴史と文化の森(大阪府河南町)	55				1							1		
北摂・黒川の里山(兵庫県川西市)	56				1							1		
秋吉台地域(山口県美祢市)	57				1									1
生出地区(岩手県陸前高田市)	58		1						1					
浦高百年の森(埼玉県寄居町)	59		1							1				
安堂地区(滋賀県近江八幡市)	60				1							1		
		7	17	8	19	7	2	2	5	18	6	15	8	6